

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(中学校用)

都道府県名	島根県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	松江市立第一中学校					
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	7	8	8	1	24	49
生徒数	270	310	303	4	887	

研究の概要

1. 研究主題

生徒一人一人の基礎・基本の定着と個性の伸長をめざしたきめ細かな指導のあり方

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

ア 発展的な学習や補充的な学習など個に応じた指導のための学習教材の開発について
 全学年全教科(研究の方向性を見出すため。)
 イ 個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善について
 2学年 英語(生徒の理解の状況に差が出やすい教科、学年であるため。)
 3学年 数学(同上)
 ウ 生徒の学力の評価を生かした指導の改善について
 全学年全教科
 (生徒一人一人の目標達成状況を把握し、個に応じた指導をするため。)

(2) 年次ごとの計画

平成14年度
 テーマ・・・「学ぶ意欲の向上をめざす基礎・基本の確実な定着のための個に応じた指導の在り方を求めて」
 仮 説・・・生徒一人一人に基礎・基本が確実に定着するための個に応じた指導を行えば、自ら学ぶ意欲が育つであろう。
 研究の内容・方法
 一斉指導の中で個に応じた指導を行うための教材開発(発展的な学習、補充的な学習)、少人数指導や習熟度別指導の工夫、評価の機能を含んだ指導計画の作成。

平成15年度
 テーマ・・・「学ぶ意欲を高め、学ぶ習慣の定着を図る個に応じた指導の在り方を求めて」
 仮 説・・・生徒一人一人の学びの姿に応じたきめ細かな指導を行えば、自ら学ぶ意欲が高まり、学ぶ習慣が定着するであろう。
 研究の内容・方法
 評価を生かした個に応じた指導(補充的な学習を中心に)、学級担任による学習指導の工夫、課題意識と自己評価力を育てる授業の展開の工夫。

平成16年度
 テーマ・・・「学ぶ意欲を高め個性の伸長をめざした個に応じた指導の在り方を求めて」
 仮 説・・・一人一人の個性や能力、将来の進路などに応じたきめ細かな指導を行えば、学習意欲が高まり、個性を生かし自ら学ぶ力が伸びるであろう。
 研究の内容・方法

年 度	評価を生かした個に応じた指導（補充的な学習、発展的な学習）、特別活動におけるガイダンス機能の工夫、選択教科の充実と選択学習を取り入れた必修教科の授業の工夫。
--------	--

(3) 研究推進体制

<p>研究推進委員会（研究主任、研究副主任、道徳主任、特活主任、総合的な学習主任、人権・同和教育主任、指導法研究主担当、教科主任） 指導法研究部会（数学科と英語科全員） 総合的な学習委員会（総合的な学習主任、各学年主担当）</p>

平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

<ul style="list-style-type: none"> ○ 第3学年数学科少人数授業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 無作為の編成による少人数授業を実施した。個別指導の回数が多くなり、この達成状況をより確かに把握し、指導に役立てることができた。 ・ 生徒アンケートからも、「質問がしやすくなった」という生徒が多く、積極的に授業に参加して理解をしようとする傾向が出てきた。 ○ 第2学年英語科少人数授業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 少人数授業の編成を学期ごとに段階的に移行したことにより、生徒の抵抗感を少なくすることができた。 ・ H14年度の2学級3コース実施の反省に基づき、1学級2コース編成にしたため、生徒指導上の配慮もでき、学習集団としても機能するようになり、個に応じたきめ細かな指導を行うことができた。 ・ 保護者アンケートからも、少人数授業によって、理解の深まりや学習への集中度の高まりなど、理解を得ることができている。 ・ 特にスキルの習得に関しては、習熟の程度に応じた編成により、定着において効果が確認できた。 ○ 学級における学習習慣づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1学年では、教師が5教科の自主学習の方法を提示し、生徒自身が方法を選択したり工夫をしたりして自主学習を実施し担任に提出した。学級担任が確認し助言をすることにより、学習意欲の向上と、自主学習の方法の定着がみられた。 ・ 第2学年では、学級担任が、定期テストに向けての学習計画の立て方や自主学習の実施についての「学習の手引き」の活用により指導を行った。各教科ごとに、「初級」「中級」「発展」の3コースから生徒が自分に適したコースを選択して学習計画を立て、自主学習を実施することにより、自ら学び方をマスターしていることとする姿がみられた。 ○ 評価を生かした支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 単元（題材）ごとの評価規準、評価基準を作成することにより、生徒一人一人の具体的な学びの姿を予測することができ、より効果的な教師の支援が可能となり、「努力を要する」生徒への指導の手だてに改善がみられた。 ・ SET（自己教育力指導検査）をH14年度、H15年度と実施し、生徒の学習についての意識を客観的に把握した。学年が進むにつれて課題意識や主体的な思考などが高まる傾向がみられた。
--

2. 今後の課題

<ul style="list-style-type: none"> ○ 少人数授業について <ul style="list-style-type: none"> ・ 学級担任が、教科学習において、担当学級の生徒の約半数の生徒との関わりに限定され、担任として生徒の把握が難しくなる点についての改善が必要である。 ・ 理解の深まりだけでなく、「楽しく」「わかる」授業を目指し、評価を生かした個に応じた指導の手だてのより一層の工夫が必要である。
--

- 習熟の程度に応じた指導について
 - ・ 技能的な単元では効果的であるが、多様な考えを取り入れたり、触れたりすることが必要な学習においては、思考が深まりにくいので改善が必要である。単元の特色により、一斉授業、少人数授業、習熟の程度に応じた指導などの授業形態を柔軟にとり入れることができれば、より効果的な指導が可能であると思われるが、1学年8学級の学校規模では様々な困難が生じることが予想されるので、検討が必要である。
 - ・ 生徒が適切なコース変更をするための、学習状況の自己評価力をつける必要がある。
- 個別指導を行うための時間の確保について
 - ・ 授業の補充のための放課後学習や、終礼時に行っている全校漢字テスト（学期2回）英単テスト（学期1回）、計算力テスト（学期1回）の事後指導の時間を確保し、個に応じた指導を工夫する必要がある。
- 「育てたい力」の焦点化について
 - ・ 学校全体、各教科等で「育てたい力」をより焦点化し、適切な評価規準に基づく評価と、「努力を要する」と判断された生徒への指導の手だてを一層充実させる。
 - ・ 生徒の自己評価力と学びへの課題意識を高める指導を工夫する。
- 学習習慣づくりについて
 - ・ 自主学習ノート、学習計画表などの提出状況の個人差が大きいため、継続的な指導が必要である。
- 選択教科と総合的な学習の時間の充実について
 - ・ 選択教科と総合的な学習の時間を、確かな学力を育てるという視点から、改善する。

学力把握のための学校としての取組

SET(自己教育力指導検査)による「学習意欲」、「学習の仕方の習得」、「自己を生涯にわたって教育し続ける意志」を診断。各学年2学級抽出により実施。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

* 授業公開実施・予定

平成15年度 1年国語・2年英語（習熟度別指導）・3年数学（少人数授業）
 （平成15年10月22日実施）
 平成16年度 教科未定 平成16年10月27日実施予定

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- | | | | | |
|----------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|
| 【新規校・継続校】 | <input type="checkbox"/> 15年度からの新規校 | <input type="checkbox"/> 14年度からの継続校 | | |
| 【学校規模】 | <input type="checkbox"/> 3学級以下 | <input type="checkbox"/> 4～6学級 | | |
| | <input type="checkbox"/> 7～9学級 | <input type="checkbox"/> 10～12学級 | | |
| | <input type="checkbox"/> 13～15学級 | <input type="checkbox"/> 16学級以上 | | |
| 【指導体制】 | <input type="checkbox"/> 少人数指導 | <input type="checkbox"/> T・Tによる指導 | | |
| | <input type="checkbox"/> その他 | | | |
| 【研究教科】 | <input type="checkbox"/> 国語 | <input type="checkbox"/> 社会 | <input type="checkbox"/> 数学 | <input type="checkbox"/> 理科 |
| | <input type="checkbox"/> 外国語 | <input type="checkbox"/> 音楽 | <input type="checkbox"/> 美術 | <input type="checkbox"/> 技術・家庭 |
| | <input type="checkbox"/> 保健体育 | <input type="checkbox"/> その他 | | |
| | | | | |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 | <input type="checkbox"/> 有 | <input type="checkbox"/> 無 | | |